



活動報告

Facebook www.facebook.com/hawk.kobayashi

twitter twitter.com/kobahawk

HP kobayashi-takayuki.jp

たかゆき 小林鷹之からの手紙

アジアの中の日本
～防衛交流を通じて見えた景色～

絆を力に。2016年 Vol.34 「討議資料」
防衛大臣政務官／衆議院議員
自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
(千葉市花見川区・習志野市・八千代市)



第6回 小林鷹之後援会「飛鷹会」朝食勉強会



講師：東日本旅客鉄道株式会社
取締役副会長 小縣 方樹 氏
日時：平成28年12月16日(金)
受付・朝食：午前7時30分～
講演：午前8時～9時
場所：ホテルニューオータニ「鳳凰東中の間」
東京都千代田区紀尾井町4-1

参加ご希望の方は右記の国会事務所までご連絡下さい。

小林鷹之事務所では、定期的に
「小林鷹之後援会『飛鷹会』朝食勉強会」を開催しています。



①モンゴルにおける「能力構築支援事業」修了式で挨拶②モンゴル国バトエルデネ国防大臣と防衛協力等について意見交換③国防大臣に白鵬関のサイン・手形入り色紙を贈呈④ダンバダルジャー日本人慰霊碑に献花・黙祷⑤ミャンマー国セイン・ウイン国防大臣来日⑥日・ミャンマー国防大臣会合に同席⑦英国MI6(秘密情報部)のスカールト元長官と国際情勢について意見交換⑧防災訓練に参加⑨富士総合火力演習に出席⑩自衛隊所属日本代表選手のリオ五輪報告会。競歩で銅メダルの荒井選手も⑪答えは現場にある。地元企業視察⑫宮本泰介習志野市長と市政・国政について連携⑬週末は国政報告会。看板まで作って頂き感謝です⑭地元の祭りで神輿渡御(上:千葉市花見川区幕張の子守神社、中:習志野市大久保の菅田八幡神社、下:八千代市米本の米本神社)

小林鷹之



東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員2期目。衆議院安全保障委員会委員、自民党青年局顧問を務める。一女の父。

地元事務所 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-3-5 YYビル1階
TEL 047-409-5842 FAX 047-409-5843
国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室
TEL 03-3508-7617 FAX 03-3508-3997

アジアの中の日本

「防衛交流を通じて見えた景色」

モンゴル国訪問

9月上旬にモンゴルへ出張。

この3年間、陸上自衛隊(陸自)の隊員がモンゴル陸軍に対して道路の作り方を教えてきました。「能力構築支援」という防衛協力・交流の一つです。「PKOなどで世界の平和に貢献したい」とのモンゴルからの要請を受けたものです。

道路の敷設には、最後のアスファルト舗装に至るまで、何層にもわたる丁寧な作業が伴います。冬はマイナス40度近くまで下がるので稼働期間も限られます。しかし、現地で作業に携わった隊員たちの話から、我が国としても貴重な財産を得たことを確信しました。

文字通り、日本・モンゴル、共に汗をかきながらの作業。ある自衛隊員は、モンゴルの軍人と「いつの日か、世界の平和のために、日本とモンゴルが共に道路を作る日が来るといいね」と語り合ったとのことでした。「共汗」から生まれる「共感」。

道路が完成した最後の修了式で、自衛隊員がモンゴル政府から勲章を受ける姿を目の当たりにした際、胸に込み上げるものがありました。現場で指導にあたった隊員は、我が国の誇りです。報道されることもない地道な交流であり、まだまだ短い道路ですが、この道の行く着く先が平和な世界の構築であることを信じています。

また、訪問時にモンゴルのバトエルデネ国防大臣とも面会と2時間にわたる夕食会を開催頂くという異例の厚遇を受けました。その背景には、歴史的に中国、ロシアの影響を強く受けてきた中で、今では「第三のパートナー」として日本が位置付けられるようになった事情があると感じました。自由、民主主義、基本的人権の尊重、法の支配といった価値観を共有できる関係に加え、これまで何度もモンゴル訪問を重ねられた安倍総理による首脳外交が大きく寄与していることを肌で実感しました。

大臣とは、両国の防衛協力・交流が地域の平和と安定に重要であり、引き続きこの流れを強化していくことで一致。また、核実験を実施した北朝鮮に対し、関係各国と連携しながら挑発的行動を自制するよう働きかけるとの我が国の考えを伝え、北朝鮮と国交のあるモンゴルに対して理解を求めました。東アジアの安全保障環境について、率直かつ有意義な意見交換ができたと思います。

晩餐会では、モンゴル相撲で最多優勝回数を誇る大臣に対し、私個人からは白鵬関の手形と直筆サインを、大臣からはモンゴルの伝統楽器である馬頭琴のプレゼント交換。喜ぶ大臣とウォッカ(モンゴルは旧ソ連の影響が強い)で乾杯を繰り返しながら、最後

はハグ(抱き合い)で締め。こうした一つひとつの繋がりを重ねていくことで、二国間関係が更に強まっていくことを期待します。

ミャンマー国防大臣来日

9月下旬には日ASEAN国防次官級会合に合わせ、ミャンマーのセイン・ウイン国防大臣が来日。丸二日間大臣と面会や会食など、腹を割った意見交換ができました。先般の選挙で軍政から民主政へと移行する中で、世界各国から熱い視線が注がれています。大臣からは自衛隊による人道支援や災害救助に関する技術支援について深く感謝されました。

私からは日本とミャンマーの歴史的なつながりに加え、特に、東・南シナ海、インド洋という両国が共有するシーレーン(海の道)という公共財をしっかりと確保していくことの重要性に理解を求め、認識を共有することができました。大臣からは、「ミャンマーには『共に7歩歩くと親友になる』との諺があるが、小林さんとはそれ以上歩いた。もう家族のように感じる。」との言葉をかけて頂きました。

与えられた立場で、これからも架け橋外交を続けてまいります。

平成二十八年十月吉日

防衛大臣政務官

衆議院議員

小林鷹之